

黄城会

Ojyo News Letter Vol.52

CONTENTS

総会実行委員長あいさつ	1
会長あいさつ	2
校長および次期総会実行委員長あいさつ	3
各支部活動報告	4
卒業50周年を迎えて	6
後輩からの一言	7
合格だ！優勝だ！	8
投稿	9
会員寄付金の寄付者一覧	10
役員一覧、物故者、寄付・寄贈	11
会計報告	13
事務局通信	15

発行▶令和4年7月1日
 発行所▶黄城会
 発行人▶外尾 美好
 印刷▶株式会社音成印刷



苦難に打ち勝つ新しい時代のために... 揺るぎない3万7千の“黄城魂”

黄城会総会を終えて



2022年度総会実行委員会

実行委員長 **上瀧 賢治**
 (高校49回)

2022年 創立123周年黄城会総会を、『苦難に打ち勝つ新しい時代のために... 揺るぎない3万7千の“黄城魂”』のスローガンのもと、多くの皆様のご参加をいただき開催することができたこと、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年の総会は昨年12月の理事・評議員会までは九州在住者限定で400人規模の方針で、小城高校体育館での開催を前提に準備を進めていました。しかしながら、今年に入り新型コロナウイルスの感染者数が増加。4月に入っても減少する気配がなく、体育館で開催した場合の在校生への影響を鑑み、場所を「ゆめぶらっと小城」で、また人数も200名を上限としての開催に変更することとなりました。急な変更にも関わらず、大きな混乱なく実施できたことは、役

員の皆様をはじめとする多くの方々からご理解をいただけたものと感謝申し上げます。また、50周年の24回生におかれましても、全国のお仲間にお声かけできなかったことに対し、ご理解賜りお礼申し上げます。当日、十分な対応ができなかった部分もあったかと存じますが、ご了承いただけますと幸いです。

スローガン『苦難に打ち勝つ新しい時代のために... 揺るぎない3万7千の“黄城魂”』は、コロナ禍だからこそ、歴史ある小城高校3万7千の卒業生の世代を超えた『絆』を大切にし、黄城の地にそびえ立つ天山のごとく「不動」の黄城魂を胸にコロナ後の新しい時代にみんなで進んでいきたいという思いを込め

ています。まさに、今回の総会を準備する中で、指導・助言をいただいた先輩方との絆、総会前日と当日に参加してくれた後輩との絆を再認識したところです。また、我々49期も多くの仲間が集い、お互いが頑張っている姿を励みに今後も成長し続けることを確認しあう機会となりました。49期のみんな、ありがとうございます！

最後になりますが、来年の総会に向けて準備を進めている50期へ私たち同様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

本当にありがとうございました。





ごあいさつ

黄城会会長
外尾 美好

令和4年度を迎え、全国各地の会員におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。

小城公園の桜は、昨年よりは遅く開花して花見客を迎えました。小城高校の大楠は、枯れた枝が切られましたが若葉が茂り夏の訪れを待っています。大楠のとなりにあるムクノキは樹勢が衰え、なかなか発芽せず枯れてしまったのではないかと心配していましたがやっと芽吹きました。このムクノキには、子どもころに登って遊んだ記憶があり、枯れてしまって伐採されるのではないかと心配しました。

さて、今年度の黄城会総会は、例年どおり5月3日に開催しました。昨年は、佐賀県内在住者に絞って150人規模で小城市まちなか市民交流プラザ「ゆめぷらっと小城」で、開催時間もプログラムも絞ってなんとか開催できました。今年は、開催の内容は昨年にならいながらも、参加者を九州在住者に拡め400人規模で母校の体育館で開催することで計画しておりましたが、開催日が近づくにつれてコロナウイルス感染者が拡大してきたため感染症拡大を考慮して母校の体育館ではなく、昨年と同じ「ゆめぷらっと小城」で、開催時間も

プログラムも例年より縮小した午前中だけの黄城会総会になりました。2年続けての中止は絶対に避けたいとの昨年の実行委員会の皆さんの思いで取り組まれた結果で、今年もなんとか頑張っていたいただいた成果だと思っています。卒業50周年の皆さまの体育館ステージでのお祝いができなかったことが大変申し訳なく感じています。

「苦難に打ち勝つ新しい時代のために... 揺るぎない3万7千の“黄城魂”」をスローガンに掲げ、上瀧賢治実行委員長を中心に、厳しい開催条件のなかではありましたが、一致団結したすばらしい総会となりました。昨年が続いてあらゆる面で縮小した総会ではありましたが弁当を配布できたこともあり、一步でも従前の総会に近づけたものと思います。今年の総会を総括して来年の総会をよりよいものに行ければと考えています。

一昨年の総会はコロナ蔓延のために、開催直前になってからの苦渋の決断で「総会中止」。昨年度はコロナ蔓延防止対策で対面の会議もならず、リモート会議で諸準備。総会会場を「ゆめぷらっと小城」に変更せざるを得なくなるなど、前

実行委員会との引き継ぎも十分にはできず、厳しいスタートとなりました。今年は母校の体育館で開催できるものと楽しみにしていましたが、総会が近づくに従ってコロナが広がってきたため、体育館での開催をギリギリで取り止めて「ゆめぷらっと小城」に急遽変更しての総会開催となりました。

また、2年続きの中止となった饅頭会は残念でしたが、やむを得なかった措置とご了解いただけたことと存じます。ただ、小城高等学校の生徒会活動報告や吹奏楽・合唱部の練習成果に触れることができなかったのが残念でした。

新型コロナウイルス感染者の発生が鎮まり、各支部総会を開催する支部も増えてくるものと期待して、黄城会とともに来年に向けた50回卒の活動に拍車をかけて行けたらと希望しています。

最後になりましたが、黄城会の発展と同窓の皆さまのご健康とご多幸を祈念申し上げ、会報発刊のあいさつといたします。





母校だより

校長
牛島 徹

令和4年4月1日付けの人事異動により本校に着任しました校長の牛島徹と申します。どうぞよろしくお願ひします。

私は保健体育科教諭として、平成9年度から3年間、その後平成17年度に再び戻り、6年間ここ小城高校に勤務させていただきました。通算9年間に渡りお世話になった学校に、また再び戻ってくることになり、心から嬉しく感じています。また、小城高校との強い縁を感じているところです。

さて、令和2年の初頭から始まった新型コロナウイルス感染症は、未だに終息の兆しは見られず、学校の教育活動にも様々な影響を与え続けています。在校生は入学してから今日までずっとコロナ禍で過ごしており、学校生活の中において、ソーシャ

ルディスタンスやマスク着用、黙食など、常に注意喚起がなされ、高い意識での行動を促されており、これまで普通にできていたことが制限されています。楽しみにしていた修学旅行も新3年生は行けなかったと聞いており、生徒たちの気持ちを思うと心が痛みます。一日も早い終息を願うばかりです。

ところで、12年ぶりの小城高校は、校舎改築により、教室棟も新しく生まれ変わり、併せて、正門付近も美しく整備されており、明るく変わった印象を受けました。そして敷地内には、郷土と本校の歴史の生き証人である樹齢600余年のクスノキと樹齢300余年のムクノキがそびえ立っています。新校舎と2本の古木という新旧相並び立つ様は、威風堂々として、両者一歩も譲らないといった感があります。また、本校の正門の脇には、黄城会の元会長で、能書家として知られた宮副新一先生の揮毫によ

る「創意・挑戦・誠実」の校訓碑があります。これまで本校では、校訓である『「創意」「挑戦」「誠実」の実践』と「明るく活気に満ちた教育活動の推進、知・徳・体の調和のとれた健全な人材の育成、教職員と生徒の相互の敬愛と信頼関係の醸成」を教育目標として掲げてきました。これは、本校教育の「不易」の部分としてこれからもしっかりと受け継いでいきたいと考えています。一方、教育の「流行」の部分については、県教委が推進している「唯一無二の誇り高き学校づくり」と呼応しながら、小城高校の良さ、魅力を県内外に発信し、生徒や卒業生が誇りに思う学校づくりを目指していきたいと考えています。

最後になりますが、同窓会の皆様方には今後とも温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

来年度の黄城会総会に向けて



令和5年度総会実行委員会

実行委員長 副島 剛
(高校50回)

令和5年度黄城会総会実行委員長を務めます副島剛と申します。先日の令和4年度総会に参加して、母校OBの結束の強さを肌で実感いたしました。ウイルス感染防止の観点から縮小した開催とのことでしたが、参加されたみなさまの同志との再会を喜ぶ姿は、長く続く日々のウイルスによる不安を忘れさせてくれました。私自身も同級生や先輩、恩師との再会があり、大変有意義な会となりました。

私は現在フリーランスにて学習サポート講師をしております。佐賀を中心に高校・大学入試のサポートをしておりますが、なかでも母校を志望する受験生や母校から大学進学を

目指す受験生の指導には何か特別な思いが加わるように思います。教育業に従事して10年以上になりますが、ここ数年のウイルスによる社会情勢の変化は、学生にも大きな影響が及んでおります。日々の学生生活はもちろんのこと、人生の方向性を決める受験において、彼らは前代未聞の制約を強いられました。これは卒業までにとどまらず、その後の社会人生活においても、まだ未熟な若者たちの多くが、この渦中で苦悩に苛まれております。

学生時代は自分ではどうしようもできない悩みに直面した時に、一緒に考えてくれる先輩や先生が存在がありました。社会人生活においては、

必ずしもそのような存在があるのは当たり前ではありません。先の黄城会総会では、外尾会長をはじめとする大先輩方の後輩を想う温かさが溢れておりました。母校を同じくする同志の深い愛情によるつながりは、世代を問わず、すべての卒業生の支えになると思います。このつながりを絶やすことなく、より強固なものにする上で、黄城会総会は大変重要な意義があると認識いたしました。

実行委員としての重要な責務を全うできるよう、1年間同級生と力を合わせてまいります。黄城会のみならず、来年の総会も是非ご期待ください。



関東支部

令和4年度の支部総会予定日は8月28日(日)で会場はKKRホテルです。

新型コロナの新規感染者の状況により中止もあり得ます。

(関東支部幹事長

高校20回 光石 信幸)

中京支部

黄城会中京支部活動に日頃より多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。令和3年度の中京支部は他支部様同様、総会の開催は新型コロナの影響で開催が叶いませんでした。これに関しては早い段階で支部総会の開催は難しいのではないかと見立てておりましたが、やはりコロナ禍の状況ではその他のレクレーションも計画を立てづらく、かじ取りが非常に難しい一年となりました。

特に緊急事態宣言下においては、役員会やちょっとした打合せの集まりも全くできず、今後の活動等どう行すべきかを電話やLINEを用いてよく話をしたものです。

結果として、令和4年に入ってから役員会をZOOMで定期開催したり、掲載写真がそうですが、感染状況が落ち着いたタイミングで顔を合わせた打合せや、簡単な食事会をしたりと試行錯誤でしたがコロナ禍で出来る限りの活動を行って参りました。ZOOMについては、役員一同若くはないこともあり、最初の設定や扱い方に苦労をしてどうにかこうにか(笑)操作出来る次第でしたが、回数を重ねると慣れてくるもので、うまく扱えるようになりました。

とにかく支部運営に関しては苦労の一年となりましたが、令和4年度の支部総会はぎりぎり開催1カ月前までは感染状況を見極めながらとはなりますが、何と

か開催する方向で調整をしています。

マスクを着用しての支部親睦会の掲載写真が表していますように、しばらくは新型コロナの感染状況に合わせた支部活動となりますが、皆様におかれましては、これまで以上のご協力とご支援を何卒宜しくお願いいたします。

(中京支部事務局長 高校40回 堤 淳)



関西支部

関西支部は総会を中止しましたが、第68回『関西支部広報』を10月に発行しました。黄城会を身近に感じて頂けるよう投稿をお願いしました。外尾黄城会会長も快く引き受けて頂き、黄城会の実情・総会の様子・実行委員会のご苦心等を詳しくお知らせ頂きました。深川支部長の挨拶、高校10回米田数英さんは随想「旅行期に在りて故郷を想う」、例年記念品DVD(写真の動画編集)を作成して頂いている高校27回岡本正史さんは「写真との出会い」、また卒業50周年を迎える高校23回岸川信義さんと高校24回笠原浩二さんからは同期への呼びかけの寄稿を頂きました。事務局からは会計・寄付・会費納入状況を報告。また支部会費を納入頂いている方に、岡本さんのDVDを広報に添えて送りました。DVDには小城駅の様子も入っており、米田さんの随想と共に、郷愁を誘われたとの御礼が沢山届きました。11月に役員幹事会を開き、令和4年度に向けて準備を開始しました。(関西支部事務局長

高校20回 内田 敏博)

関門・北九州支部

例年、支部総会は5月3日の総会前日の本部支部連絡会の場にて開催日程ご承認を頂き、総会終了後から準備に取りかかる流れとなっております。しかしながら、令和3年度も全国規模のコロナ禍の中、福岡県ひいては北九州においても、終息が見えず、さらなる長期化、拡大が危惧され、開催決断、また、準備ができない状況でございました。

このような中、支部委員の皆様、学校・本部よりお越し頂く方々の健康・安全最優先の観点で断腸の思いでの中止と致しました。

令和4年度こそは、直近の状況を注視しながら実施検討させて頂く所存でございます。この場をお借りしまして、改めて、黄城会会員、学校関係者皆様方のご健康を心より祈念致しまして、ご報告とさせていただきます。

(関門・北九州支部支部長兼事務局長

高校29回 山口 孝美)

福岡支部

令和3年度の福岡支部は昨年に続き、会合による活動を自粛致しました。

そういった中、令和3年7月、当番回期となった高校48回卒、加えて高校47回卒の有志、役員会で合同の会議を開き、10月支部総会を書面総会とする事を決定致しました。

8月下旬、高校48回実行委員会(実行委員長 杉田仁志殿)は、幹事会メンバー(顧問、役員、各卒業回期の代表で構成)各位へ、支部近況・活動報告、直近の収支報告文書と共に、総会の議決事項である支部長選出案について、賛否の回答を求める書面を送付。

3年にわたり支部長の重責を担われて

いる、高校10回南川武夫様の後任として、令和4年4月より高校12回辻正人様の新支部長就任を役員会より提議。無回答があったものの、賛成多数、反対0でこの案が承認されました。

書面総会という初の試みでしたが、高校48回実行委員会の皆さんが先輩方の助言も活かし、無事、総会を開催出来た事を慶びたいと思います。

なかなか出口が見えないコロナ禍の状況の下、令和4年度以降の活動、運営をどういう形にするのか、他支部の動向も参考にし、また相互の連携も図りながら、福岡支部全体で検討、協議して行きたいと考えております。

末筆となりますが、黄城会の弥栄と会員諸兄弟のご健勝を祈念致します。

(福岡支部幹事長

高校26回 古賀 省吾)

佐賀支部

黄城会佐賀支部の令和3年度の支部活動につきましては、前年度コロナ感染症拡大防止の為、支部総会中止を余儀なくされ本年度こそは開催できることを念じていました。

しかしながら、コロナの終息は見られず5月29日に3役での打ち合わせをし、6月19日に役員会を招集して意見集約の結果、秋の支部総会の中止を決定しました。2年連続の中止となり誠に残念ですが、会員の皆様やご家族様に万一のことがあれば、黄城会の存続さえ怪しくなる恐れがあります。大切な命には代えられません。

支部の会員数が多い中、開催を心待ちにされている皆さんに中止の決定をいち早くお知らせしたい思いで早目に決断しました。また例年広告の協賛をいただいている方々にもハガキでお知らせし、次回開催時での協力をお願い致しました。何とか次回こそは、開催にこぎつけたいと思っています。

(佐賀支部事務局長

高校22回 徳久 英二)

唐津支部

唐津支部では、他支部総会の中止判断を参考に、令和4年2月に予定していた令和3年度総会を中止させていただきました。

今年度こそはと、令和5年2月5日(日)の令和4年度唐津支部総会開催の準備を進めてまいります。

令和3年度の支部活動は、支部総会の中止を判断する役員会のみとなりましたが、前回の活動同様、支部総会を中止とする案内にあわせて、会費納入、運営寄付をお願いさせていただき、多くの支部会員からの支部活動に対する想いが集まったところです。

令和4年度黄城会総会が会場変更、入場制限などの工夫を凝らして開催される中に、唐津支部におきましても対策を講じながら、令和5年2月5日(第1日曜日)に皆様をお迎えさせていただきます。

(唐津支部事務局長

高校43回 濱村 宜弘)

多久支部

今回より事務局長の任を引き継ぎ、担当いたします。よろしくお願いいたします。

さて、例年開催しています、黄城会多久支部総会ですが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止と判断いたしました。

例年に続いての中止となり、会員の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

かつてあった日常が遠くなり、また、事態の収束に今しばらくの時を要する状況ではありますが、次回こそは開催の運びとなり、多くの会員の皆様にお会いできることを願っています。

最後に、今年度の黄城会総会の開催にご尽力された高校49回の皆さん、また、

次回開催へ向け、ご尽力中の高校50回の皆さんへ感謝申し上げます、黄城会の更なる繁栄と、会員の皆様のご健勝を心より祈念致しまして、報告とさせていただきます。

(多久支部事務局長

高校46回 川渕 理)

県庁支部

県庁では、令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組む年となりました。県庁支部の会員は県政の様々な分野で活躍しており、まさに一丸となって頑張っています。また、令和3年8月の豪雨災害に対しては、気候変動対応型の復旧・復興を目指して内水対策などに取り組んでいるところです。

このような中、令和3年度の支部総会を新型コロナウイルス感染症の第5波と第6波の間に開催することができました。急遽、日程を決めたため参加者は例年より少なめでしたが、7月に就任された南里副知事(高校31回)、来賓として県議会の藤木議長(高校38回)、藤崎議員(高校41回)に参加いただき、一同楽しいひとときを過ごすことができました。さらに次期当番回期の会員からは、黄城会総会に向けた活動の状況を報告いただきました。

令和4年度は新型コロナウイルスが終息し、平穏な日常を取り戻せることを願っています。

(県庁支部支部長

高校35回 伊東 厚)



24回生 卒業50周年を迎えて



高校24回
諸泉 定次

「生きてりゃ感謝の日々が来る」

それは突然の事だった。今回高校卒業24回生は、卒業50周年で壇上に登壇するので参加してほしいとの連絡。喜んで受けた。ところがその後の事である。会報に原稿を書いてくれないかと。何を血迷っているのか。自分みたいに出来が悪く、立身出世とは縁遠く、目立たない、おとなしく、クラブ活動も地学部の文系で何のとりえもない自分になんで原稿依頼が来るのかと。

世話役の大坪洋二君と話した。彼曰く「誰に原稿を依頼するのかと幹事会で話し合ったところ、あなたの名前が出てきた。そこで、何とかお願いできないか。自分も全校生徒の前で講演した。講演したことが大きな財産。成績とか立身出世とかは関係ない。思ったことを書けばいい」と言われ、反論できず承知した。

何を書くのか悶々とした中で、黄城会総会を迎えた。私は黄城の集いから参加した。コロナ禍で規模を縮小して、ゆめぶらっと小城の天山ホールでの開催であった。集いには同級生約80名ほどが壇上に上がり代表して古賀正人君が「高校2年生の時、大阪万博の修学旅行で羽目を外し停学者を多数出した。翌年から男子の修学旅行が中止となり、迷惑を

かけた。」などつかしい思い出話をしてくれた。自分は修学旅行には参加せず、同級生と関西に旅行に行った。また、卒業式の日、過激派連合赤軍が立てこもった浅間山荘へ機動隊が突入したのを同級生とテレビで見っていた。

思い出せば、入学1年目は老朽化した木造教室で1年を過ごした。その後鉄筋の教室へと移った。中学時代は9人制のバレーボールをしていたので、クラブはバレーボール部に入った。ところがである、当時も今も私の身長は167cm。一番背が低く、みんな170cm以上である。ジャンプしてもネットから手が出ない。これではバレーにならない。先輩からジャンプ力をつけろと指導されたが、運動神経が発達していない自分には無理だと分かり、夏休みを境に退部して、地学部に入った。天文・地質・気象を勉強するサークルみたいなものである。なんとなく入ったが、そのころのメンバーとは、今でもオイと声をかける関係である。

高校3年間は本当に勉強しなかった。それでも大学受験はした。当然受かるはずもない。就職浪人して労組関係の仕事をして、結婚・子育てを経て、市議会議員になろうとは想像もしていなかった。ありがたいことだ。

そんなことで、高校時代の劣等感がぬぐえなく、どちらかと言えば、小学校や中学校やクラス同窓会を優

先して、高校の同窓会は還暦同窓会とか、節目だけの参加としていた。

しかし、生きていりゃいいことがある。市議会議員となり、おしかりも受けるが依頼がうまくいくと感謝もされる。やりがいを感じる。

さて、高校卒業して50年。今更ながら創立123周年はすごいことである。この頃ようやく劣等感を持つこともなく、家族・同級生・先輩・後輩の皆さんや地域の方々に感謝する自分がいる。

これから黄城会の発展を願うばかりである。実行委員の皆さん、卒業50周年の集いを開いてくれてありがとう。そして、この拙い原稿のチャンスを与えてくれた同級生の幹事会の皆さん。これは私の大きな財産です。本当にありがとう。



「当たり前じゃない」を実感できた3年間

松尾雄生（筑波大学社会・国際学群社会学類）

私が小城高校に入学した理由は、大学進学を目指しつつ、小学生から続けていた剣道でも活躍したいと思ったからです。入学当初は普段通りに学校に行き、部活をして、友達と一緒に帰るといった日常を3年間過ごさざらうと当たり前のように思っていました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により学校が休校になるという未曾有の出来事が起こりました。自宅学習のため、学習環境は大きく変わり、友達や先生との交わりも少なくなったので、不安や孤独に苛まれることも多々ありました。こ

の期間は、当たり前が当たり前ではないということをもっと感じることができました。

3年生になり、入試を受けるにあたって周囲の方々がして下さったサポートには本当に感謝しています。昼休みや放課後の時間を割いてまで指導をして下さった先生方、勉強しやすい雰囲気と共に切磋琢磨し合った仲間、大学進学のコストを負担してくれる家族、その他大勢の方々、ありがとうございました。

1年生の時からずっと夢であり、目標としてきた筑波大学に合格できたのも周囲の方々の支え無しでは達

成し得なかったと思います。今こうして大学へ進学し、不自由なく生活できているのも周囲の方々のおかげだということをも心に留め、しかしそれが当たり前だと思わずに自立することを心掛けていきます。

そして、お世話になった方々へ将来恩返しをするために大学でしっかりと学び、良い報告ができるようにしたいです。これからの新たな生活の中で様々な経験をし、高みを目指して頑張ります。

支えてくださった方々への感謝

櫻木美月（千葉大学文学部行動科学コース）

小城高校での3年間を振り返って最初に頭に思い浮かぶのは、周りの方々への感謝の言葉です。勉強も部活も頑張りたい。そんな思いで小城高校に入学しました。しかしそれは簡単なことではなく、様々な方の力を借りなければ乗り越えられなかったことが沢山ありました。

石橋先生をはじめ、ご指導して頂いた先生方のおかげで志望校に合格できました。また先生方からは学ぶことの楽しさと深さを感じました。教壇に立って楽しそうに、時には子どものように熱く語られていた姿は輝いて見えました。疑問に思ったこ

とについて先生と語り合い、また新たな疑問が生まれる、これの繰り返して、危うく受験勉強そっちのけでのめり込むところでした。毎日の学びが本当に楽しかったです。ありがとうございました。

うまくいかないことがあったとき相談できる友達と出会うことができました。自分の失敗をいつまでも引きずり落ち込む私の性格を受け入れてくれた部活のペアを組んだ友達や部員、日常の些細な出来事も、一緒にいれば抱腹絶倒の喜劇になるクラスの友達、信頼できる人が周りにいることの幸せをひしひしと感じま

す。ありがとうございます。

毎朝、私よりも早起きして弁当を作ってくれたり、大会の際には会場までの送迎、受験の際には何ひとつ嫌な顔せず支えてくれた母には頭が上がりません。ありがとうございます。

最後になりますが、黄城会の方々から頂いた奨学金を使って参考書を購入したり、塾のコストをより少ない負担で払うことができ、大変助かりました。ありがとうございました。

周りの支えあってこそその自分であることを肝に銘じてこれからも頑張ります。

合格だ！優勝だ！ 令和3年度 学業報告・部活動の成績

合格状況 ()内は過年度卒

【国立大学】筑波大学1／千葉大学1／金沢大学1／大阪大学2／奈良教育大学(1)／島根大学1／山口大学2／九州工業大学2／福岡教育大学5／佐賀大学7(3)／長崎大学3／熊本大学2(1)／大分大学2(2)／宮崎大学3(2)／鹿児島大学2

【公立大学】福知山公立大学1／鳥根県立大学1／公立鳥取環境大学1／下関市立大学2／山口県立大学4／高知県立大学1／北九州市立大学4／福岡県立大学1／長崎県立大学9／熊本県立大学3／宮崎公立大学3

【私立大学】国際医療福祉大学2／専修大学2／帝京大学3／東海大学4／明治大学(1)／中央大学(3)／京都産業大学1／同志社大学3／龍谷大学1／近畿大学2(2)／関西学院大学2／梅光学院大学1／九州産業大学22／久留米大学36(1)／久留米工業大学8／西南学院大学8／第一薬科大学1／筑紫女学園大学16／中村学園大学12／福岡大学14(7)／福岡工業大学15(2)／福岡女学院大学6／日赤九州看護大学1／福岡国際医療福祉大学2／西九州大学25／活水女子大学2／長崎国際大学9／長崎外国語大学2／熊本学園大学9(1)／崇城大学3(1)／その他の大学38

【短期大学】国立清水海上技術短期大学校1／中村学園短期大学1／佐賀女子短期大学9／九州龍谷短期大学1

【その他】文科省外大学校5／高等看護学校12／医療系専門学校6／その他専門学校9／就職(公務員)6

部活動の成績

【体育部】

1.柔道

○令和3年度佐賀県高等学校総合体育大会／女子団体 2位／女子個人 3位 池田萌恵／女子個人 2位 大坪夕葉・江口美羽

○令和3年度佐賀県高等学校新人体育大会／女子団体 2位／女子個人 1位 大坪夕葉／女子個人 2位 江口美羽・永田結菜佳

○第44回佐賀県高等学校選手権柔道大会／女子団体 2位／女子個人 1位 江口美羽

2.剣道

○第55回佐賀県高等学校春季剣道大会／女子個人 2位 久富百寧／女子個人 3位 中村香梅

○令和3年度佐賀県高等学校総合体育大会剣道競技／女子個人 3位 久富百寧

○第43回大麻旗争奪高校剣道大会／敢闘賞 森田耕生

3.弓道

○佐賀県高校弓道春季大会「高取杯」／男子団体 3位／女子団体 3位

○令和3年度佐賀県高等学校総合体育大会弓道競技／男子個人 5位 右近真基

○令和3年度佐賀県高等学校弓道新人大会／男子団体 2位／男子個人 1位 干場隆生／男子個人 4位 川路大智

○令和3年度第29回九州高等学校弓道新人選手権大会／男子個人 4位 干場隆生

○第40回全国高等学校弓道選抜大会佐

賀県予選会／男子団体 2位／男子個人 1位 干場隆生

○令和3年度佐賀県高等学校弓道2年生大会／男子団体 優勝

4.バドミントン

○令和3年度佐賀県高等学校総合体育大会／女子団体 3位

○佐賀県高等学校新人バドミントン競技大会／女子個人 3位 副島七海

○佐賀県高等学校新人バドミントン競技大会／女子個人 3位 古賀まな美

○佐賀県高等学校新人バドミントン競技大会／女子団体 3位

○令和3年度模範競技者 松門愛弓

5.バレーボール

○佐賀県高等学校新人バレーボール大会／男子団体 3位

○第43回村上杯近県高校ソフトテニス大会／女子個人 3位 藤瀬愛梨・秀島凜

○令和3年度佐賀県高等学校総合体育大会／女子団体 準優勝／女子個人 5位 藤瀬愛梨・秀島凜

○佐賀県高校新人ソフトテニス大会／女子団体 準優勝

○佐賀県選抜高校インドアソフトテニス選手権大会／女子個人 3位 児玉有希・秀島凜

○ハイスクールジャパンカップソフトテニス2021ダブルス競技 佐賀県代表選考大会／女子個人 ベスト8 田中

楽々・児玉有希

○2021年度佐城地区高等学校ソフトテニス秋季大会／男子団体 優勝

7.サッカー

○佐賀県高等学校総合体育大会サッカー競技／ベスト8

○令和3年度第32回高等学校佐賀市長旗争奪1年生大会／田中国義杯 準優勝

8.陸上

○第54回佐賀県高等学校新人陸上競技大会／男子200M 3位 野中太陽

9.ボウリング

○第28回佐賀県理事長杯ボウリング競技大会／女子個人 3位 笠原裕奈

○令和3年度国民体育大会第41回九州ブロック大会／少年女子 個人戦 1位 笠原裕奈／少年女子 団体戦 1位 笠原裕奈

○第25回佐賀県シングルスボウリング選手権大会／女子 準優勝 笠原裕奈

○第40回全九州ダブルスボウリング選手権大会／個人 3位 笠原裕奈

○第53回全九州チームボウリング選手権大会／チーム 4位 笠原裕奈

10.馬術

○令和3年度国民体育大会第41回九州ブロック大会／少年団体 第3位 志田朱音／第6競技 少年標準障害飛越

競技 第2位 志田朱音／第11競技 少年スピード&ハンディネス競技 第3位 志田朱音

11.水泳

○第44回全日本スイミング夏季水泳競技大会／個人 2位 松本力輝

○第16回佐賀県冬季水泳競技大会／15歳以上 400m 自由形 第3位 松本力輝

○佐賀県高等学校新人体育大会水泳競技大会／男子400m自由形第2位 松本力輝

○佐賀県高等学校新人体育大会水泳競技大会／男子200m自由形第3位 松本力輝

12.スキー

○第71回全国高等学校スキー大会佐賀県予選会／男子の部 第1位 中西冬近／スラローム男子 第1位 中西冬近／少年男子の部 第1位 中西冬近

13.アーチェリー

○令和3年度佐賀県高等学校アーチェリー新人大会／新人の部 優勝 井上光彩

○令和3年度佐賀県新人アーチェリー選手権大会／優勝 井上光彩

【文化部】

1.書道

○梧竹・蒼海顕彰第29回佐賀県書道展／優秀賞 江嶋美咲・坂田遥・古瀬愛梨・福富こころ

○第73回佐賀県高等学校席書大会／特選 香月彩愛・樋渡彩乃・溝口澁歩・古川遥菜

○第45回佐賀県書作家協会展／書作家協会賞 森七星／書道教育連盟賞 樋渡彩乃／特選 香月彩愛・中島彩希・古瀬愛梨・福富こころ

○第50回全国高校書道展／推薦 中島葵

○第33回佐賀県高等学校総合文化祭書道部門／奨励賞 石井香帆・樋渡彩乃

○第26回全日本高等学校書道コンクール／準大賞 香月彩愛・森七星／全日本高等学校書道教育研究会賞 江嶋美咲／準大賞(全国2位) 樋渡彩乃・溝口澁歩

○第46回佐賀県高等学校臨書展／特薦 樋渡彩乃・溝口澁歩

○岐阜女子大学書道展 書道展賞(特別賞) 樋渡彩乃

○第27回 高田保馬博士顕彰会記念【書道】／顕彰会賞 樋渡彩乃

2.吹奏楽・合唱

○第62回佐賀県吹奏楽大会／団体 銅賞

○第76回九州合唱コンクール佐賀県予選／団体 銀賞

○第33回佐賀県高等学校総合文化祭連合音楽会ソロアンサンブル合唱部門／管打楽器六重奏 奨励賞

○第33回佐賀県高等学校総合文化祭連合音楽会ソロアンサンブル合唱部門／女声三部合唱 奨励賞

○第33回佐賀県高等学校総合文化祭連合音楽会吹奏楽部門／奨励賞

○第47回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテスト／銅賞

3.美術

○第74回佐賀県高等学校スケッチ大会／準特選 馬渡莉央・田中晴奈・有浦弥玖／奨励賞 江里口夏海・岡本慈生・永尾萌絵・梶原大地・前田美緒

○第33回佐賀県高等学校総合文化祭美術・工芸展／準特選 有浦弥玖・岡本慈生／佳作 片瀾瑛心・荒木遥月・前田美緒

○第60回佐賀県高等学校デッサンコンクール／準特選 有浦弥玖・岡本慈生・荒木遥月／奨励賞 永尾萌絵

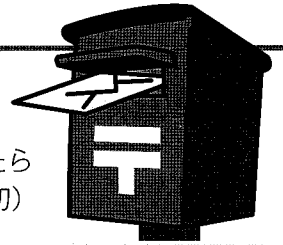
4.放送

○第33回佐賀県放送コンテスト・第45回佐賀県高等学校総合文化祭放送部門／奨励賞 尾鷲美紀

○第22回アバンセ杯放送コンクール高校生部門／審査員特別賞 岡部美里

投稿

掲載させていただける資料等がございましたら事務局までお願いします。(令和5年4月締切)



母校への期待 東海大学 総合社会科学研究所知的財産部門長・客員教授 弁護士 弁理士 角田 政芳 (高校19回)

最近、初めてわが母校、小城高等学校のウェブサイトを見て、頼もしいと感じた。

「令和3年度学校評価結果」の欄の「2 学校教育目標」で、「『文武一途』を奨励し、総合力としての「生き抜く力」を育成する。…進んで『教育イノベーション』に取り組んでいく。」と述べられているからである。また、「4 重点取組内容・成果指標」の「学力の向上」では、「キャリア教育の充実／生徒の進路志望の実現」が掲げられ、「心の教育」では、「生徒が、自他の生命を尊重する心、…正義感…など、豊かな心を身に付ける教育活動」が掲げられ、「人権学習はできている」と評価されている。

私が母校のキャリア教育に関心があるのは、私自身の苦い経験による。人権教育に関心があるのは、私の専門に関するからである。

私は、昭和42年3月卒業の第19回生だが、上記の教育目標の『文武一途』ではなく、3年間卓球部で「文武一途」をやりすぎて、自分のキャリアと大学で何を学ぶべきかを熟考する余裕もなく過ごした。

ようやく「これはいかんばい！」と真剣になったのは、大学4年生になってからである。これでは遅すぎる。周知のとおり、当時の大学は学生運動が盛んであった。代表的なセクトの複数のリーダーから何度も誘われたが、私はマルクスの資本論などを徹底勉強して、その矛盾点を指摘したところ、反論できる人が一人もいなかったため、参加することはなかった。

しかし、そのおかげで、私は社会科学の大きな魅力に気がつくことができた。とくに法律の学者が自由と真理を追求して生きることができることについて確信を得た。そこで、都内で弁護士を開業していた親戚の法律事務所勤務しながら、大学院法学研究科修士課程に進み、博士課程まで「知的財産法」の研究に没頭した。「知的財産法」を専攻したのは科学技術と社会科学の両方に関与し続けられると考えたからである。

1994年から1996年までの2年間は、学会の推薦により、ドイツ、ミュンヘンにある世界最高峰の学術研究機関であるマックス・プランク研究所で特別研究員として、世界中から集まった若手研究者200名以上と研鑽の日々を送ることができた。

ドイツの学問研究の神髄にも触れることができた。例えば、入所初日に世界的に著名な研究所長のBeir教授から、「角田君、学問はあらゆることから自由でなければ成立しません。」といわれたときには、思わず涙が出た。いつもそのように信じていたからである。もっとも、もう一人の著名な研究所長のSchriccker教授（当時、研究所長は2名だった）から、「角田君の研究テーマは、誰も関心がないし、論文も、判決例もない。将来とも何の役にも立たないから、やめた方がいいね。」といわれたときには、「なんだ、この研究所はたいしたことないな」と、生意気に思ったものである。その後約2か月間、研究所の地下の古いほこりだらけの図書室で調査した結果、関連論文と判決例を発見した。後日、廊下でその所長と会ったので、そのことを伝えたら、「君は、ピオニアです！」とほめてくれたのは今でも忘れられない。ドイツ語でピオニアPionierはパイオニアである。一瞬、私は「君は、ピラニアPiranhaだ！」といわれたような気がした。

帰国後は、東海大学の法学部・大学院とロースクールで教育と研究をしてきた。

知的財産法は、科学技術と芸術のクリエイターたちの人格的・財産的権利を守る法分野であり、クリエイターの権利も、1948年の「世界人権宣言」に明記されている人権である。新型コロナのワクチン開発者であるカタリン・カリコ博士は、世界中の人々の生命を救っている。そのワクチンの元となったmRNAは特許が取られている。特許がなければ大量生産して世界中の人々にワクチンが届けられないからである。私は、現在、作曲家や作詞家の著作権管理団体JASRACの理事も務めているが、音楽のクリエイターの生活・人権を守る重要な仕事である。弁護士として作家や歌手たちもサポートしている。

私が、母校の人権教育に関心があるのは、実は、そのためである。

現在、ロシアの野蛮というべき、そして国際ルールを無視した人権の著しい侵害が続いている。国際的には、民主主義国家のほうが少数派となっている。

前後したが、母校の校訓に「創意 (Originality)」の実践がある。

昨年春から今年4月までの1年間、国連の世界知的所有権機関 (WIPO、ジュネーブ) が、知的財産創造性教育のラウンド・テーブルをZOOMで開催し、誘われて毎月出席した。

母校の後輩たちが、私とは違って、そのキャリア教育で、高校在学中に自分のやりたい仕事についてしっかり考える機会を得てくれるように期待したい。また、その人権教育で「自他の生命を尊重する心」と「正義感」を身につけ、そして母校の校訓の「創意 (Originality)」の実践で創造性豊かな人材に育ってくれるよう切に期待したい。

令和3年度会員寄付金の卒業回期別寄付者一覧 (敬称略)

会員の皆さまには、日ごろから黄城会の円滑な運営に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は「会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与すること」を目的にした事業を行っておりますが、建築後34年目の黄城教育会館の維持管理及び将来の改修費用並びに育英奨学金資金の確保のためにご寄付をお願いしましたところ、(344口) 2,957,000円のご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

ご協力いただいた寄付金につきましては、お願いした趣旨ののつり有効に活用させていただきます。

ここに感謝の意を込めてご尊名を掲載させていただきました。また、この会員寄付金は、今後も継続して計画させていただきますので、なにとぞご協力賜りますようお願いいたします。

小城高等学校同窓会 黄城会会長

(旧中40) [故]野副 繁 (旧中42) 於保 實美 (高女14) 匿名希望 1人 (高校2) 松尾(桃井)久子 (高校3) 相原 一郎 副島 弘暉 辻 和好 野中 栄三 池田(古川)美智子 川内野(上瀧)エミ 古賀(真子)育子 [故]鈴木(松田)千鶴子 (高校4) 青柳 成美 今泉 茂登 江頭 駿治 江里口 勲 木下 良彦 釘本 晴夫 古賀 渡 石倉(寒河江)幸子 尾形(井上)節子 小川(島田)勇紀子 小柳(石井)孝枝 中山(中尾)ヨシコ (高校5) 池田 庫久 江里口 雅正 川副 富男 杉原 敬人 高木 修 立石 博彦 中園 照彦 池田 佳寿子 堤(三好)澤子 成田(山下)博子 松本(北島)久子 (高校6) 相川 直昭 秋吉 成恭 古賀 弘毅 小柳 新平 陣内 寛寛 西田 澄生 平山 哲也 吉村 久夫 江口(坂口)昭代 荻野(小林)惇子 瀬井(手柴)房子 中島(福島)延子 (高校7) 稲富 敏夫 川久保 洋	佐々木 昇三 南里 辰郎 野口 守夫 古川 倭夫 和田(浜口)茂則 小林(公文)了子 西川(久保)行代 持永(渡島)貴美子 本村(江口)千津子 山口(越越)道恵 山田(池田)勝子 (高校8) 安藤 清隆 井手 芳穂 井上 克己 大野 雅央 尾形 末彦 [故]志鎌 明雄 瀧川 晴雄 中原(袋)鎮 七島 義人 西村 長生 西山 俊幸 秀島 寛美 森 俊之利 井手 愛子 大野(於保)富子 金子(日出島)京子 公文(田代)益子 古賀(岸川)京子 佐々木(徳永)祐里子 川崎 イサ子 平田(森永)英子 森永 廣江 吉村(犬山)米子 渡邊(中島)由美子 (高校9) 金丸 忠 櫻木(高塚)勝代 貞松(荒谷)絹代 中島(山口)敦子 匿名希望 1人 (高校10) 大石 太夫 岡本 壽俊 岸川 英次 木下 岩弘 黒古 賀政 西岡 孝三 松枝 修治 松永 政治 溝口 武夫 南川 武夫 宮島 光典 牟田口 博司 浅野(牧瀬)廣子	井手(川久保)スミ子 太田(川原田)京子 香月(川久保)良子 岸川(朝倉)禮子 佐久間(新郷)翠 清水(今泉)千恵子 西岡(香田)敏子 東(横田)佐久良 森(野田)博子 山田(田中)寿美子 (高校11) 片江 俊彦 古賀 慶順 野口 武男 久本 哲義 兵動 利行 前山 輝雄 池田(松瀬)昌子 稲益(野方)一子 倉永 寿子 茂田(北島)道子 丸谷(田中丸)房子 (高校12) 井手 良祐 江口 尚久 大島 文雄 鬼塚 重則 小島 吉晴 古賀 克之助 林 三郎 林 義人 高木(鈴木)温子 平野(村口)多喜子 廣川(渡島)美智子 樋渡(林口)洋子 松隈(横尾)雅子 吉田(倉富)秀子 (高校13) 相原 秀人 鮎川 正興 大賀 文博 小路 英毅 古賀 清登 高間 靖治 中尾 久司 永山 重隆 古川 秀満 山本 道久 山石 信子 古川(永野)悠紀 本野(藤井)陽子 (高校14) 荒谷 良幸 石隈 一彦 武富(東郷)勝義 徳勝 秀俊 富永 信男	檜崎 進 深町 宗孝 福井 直大 飯谷(横尾)秀子 大塚(石丸)博子 福島(真子)治枝 (高校15) 石本 勝昭 板垣(牛丸)修 七田 義孝 陣内 由晴 鶴丸 義則 [故]豊田俊明 野村 輝夫 真鳥 照男 持永(真子)正彦 安藤 ヒサ子 田中(音成)和子 中島(北村)要子 野口(福地)稔子 橋詰(森永)芳得 (高校16) 梅崎 茂弘 岡田 史一 古賀 紀昭 福田 昭春 豆田 泰夫 江口(高洲)磯子 倉元(野口)サエ子 [故]福島幸子 吉浦(黒岩)恵美子 (高校17) 石井 隆 江島 康光 斉藤 清一郎 田中 善吾 原田 元彦 深川 義隆 古館 和幸 山下 敏博 山下 拓治 吉田 紘二郎 小原 鶴子 川副(宇高)久美子 高塚 恵美子 原田(森)順子 若松(井上)ひろみ (高校18) 大坪 正明 古賀 徳次 古川(中尾)剛彦 村山 龍彦 吉次(豆田)悦夫 檜 幸子 (高校19) 貝原 正洋 川副 陽介 角 田政	田中 英雄 堤 成太郎 友永 哲三 中山 伸 永淵 俊昭 百武(水田)好光 峯 康則 川崎(土井)幸江 匿名希望 1人 (高校20) 荒原 敏雄 江口 幹郎 大島 信行 岡田 修三 川久保 悟 川原田 徳治 木崎 善行 岸川 宗一郎 北川 和道 坂田 勝之雄 佐藤 幸滋 南里 一夫 深川 秀寛 藤川 美好 外尾 美節 本村 光節 盛口(山本)紀文 吉本 祥二 泉(水田)富子 江頭 充子 大坪(馬郡)みどり 岡田(渡辺)美知子 川辺(円城寺)直子 坂田(下村)律子 穴戸(森)久子 原田(野口)京子 和田(卯野木)邦子 (高校21) 田中 政敏 田原 泰明 野原 雅志 本村 豊 阿部(天ヶ瀬)眞紀子 江口(北島)八千代 小野(小柳)信子 関(江島)和子 中村(吉田)悦子 中村(一ノ瀬)津多子 古川(今村)文子 山北(川内丸)郁子 山口(飯盛)みな子 匿名希望 1人 (高校22) 大家 保幸 緒方 隆義 熊井 隆光 坂井 一彌	中尾 康彦 福地 由親 宮崎 公彦 山下 哲夫 江口(金丸)泰子 千葉(山本)寿雅子 匿名希望 1人 (高校23) 内野 安成 川副 弘之 小林 隆成 南里 芳幸 柴田(塚原)春美 永淵(原)幸子 (高校24) 大坪 文明 藤本 富男 檜 英明 荒木(今井)賀寿子 (高校25) 三根 英樹 川村(松永)久美子 工藤(古場)節子 (高校26) 内海 唯史 西山 大作 田中 伸子 橋本(笹川)秀子 藤(大野)きみ子 矢野(田中)律子 (高校27) 於保 武俊 高田 知行 永田(林田)由美 (高校28) 北川 常弘 小林 智博 田中 博徳 徳廣 吉則 新居(笹川)美和子 江島(三浦)伊津子 小口(鶴)佐枝子 武田(山田)郁子 野田(田代)美智子 (高校29) 坂井 秀明 土橋 敬治 峯 直治 雪竹 稔 井手 真喜子 (高校30) 小林 彰則 吉谷 弘 小林(中島)恭子 城(寺崎)仲子 光岡(池田)知子 (高校31) 武久 竜弘	野田 浩幸 松瀬 幸弘 (高校32) 大坪 敏郎 北川 恵治 古賀 浩二 (高校37) 仁木(黒岩)朋子 (高校38) 江頭 真規子 (高校39) 東島 純一 (高校40) 山上 誠児 荒川 好子 (高校41) 井手 伸太郎 山崎(黒岩)史子 匿名希望 1人 (高校42) 橋本(糸山)祐子 (高校43) 熊本 仁之 橋村 宜弘 樋渡 明宏 松本 智弘 (高校44) 篠岡 希美子 (高校45) 松尾 幸樹 (高校47) 山田 英明 中野(中園)花波美 (高校48) 金丸 豊和 (高校49) 川添 雄希 (高校50) 森 隆行 吉田(井上)真里 (高校51) 川頭 裕樹 (高校66) 濱村 武志 (高校67) 濱村 風沙 (本定2) 徳永 邦正 (本定9) 今村 健一 (他) 匿名希望 1人 (回期・住所不明)
---	--	---	--	--	---	--

令和4年度黄城会役員一覧

▷会長=外尾美好(高20)▷副会長=徳久英二(高22)古賀正人(高24)井手美保子(高28)▷顧問=牛島徹(校長)田代文則(教頭)紀伊あけみ(事務長)▷理事=川副富男(高5)佐々木昇三(高7)大野雅央(高8)金丸盛登(高9)牟田口博司(高10)真子輝雄(高11)小柳平一郎(高12)中尾久司(高13)青柳隆(高14)七田義孝(高15)梅崎

茂弘(高16)松尾剛之(高17)野田和良(高18)江口武(高19)野田豊秋(高20)坂井正徳(高21)坂井一彌(高26)南里信幸(高23)川副春海(高26)横尾俊彦(高27)岡正幸(高30)安永正(高31)伊東猛彦(高32)水田信(高33)松尾直人(高35)西岡聖師(高36)梶原聖司(高37)北島清孝(高38)香川弘行(高39)高塚誠(高40)飯盛宏徳(高

41)野田一彦(高42)西田亮(高43)洲上史貴(高44)徳重隆仁(高45)吉次篤司(高46)梶原泰宏(高47)田中雅久(高48)▷監事=福田智恵子(高26)雪竹稔(高29)真崎俊夫(高34)▷事務局長=平安寺徹(高25)▷庶務=山崎史子(高41)▷会計=田代智子

支部役員一覧

[関東支部]▷支部長=本村清人(高17)▷副支部長=村上徹(高19)▷副支部長=井手勇人(高31)▷幹事長=光石信幸(高20)▷事務局長=川副隆之(高32)

[中京支部]▷支部長=力武勉(高17)▷副支部長=梅谷雅和(高17)▷副支部長=中嶋桂子(高25)▷事務局長=堤淳(高40)▷事務局次長=吉田了(高43)▷会計=真子博行(高39)

[関西支部]▷支部長=深川義隆(高17)▷副支部長=南里種司(高20)

▷副支部長=岡本正史(高27)▷事務局長=内田敏博(高20)

[関門・北九州支部]▷支部長兼事務局長=山口孝美(高29)

[長崎支部]▷支部長=古川正人(高8)▷事務局長=大石太(高10)

[福岡支部]▷支部長=辻正人(高12)▷副支部長=江里口宗男(高12)▷副支部長=堺八千代(高25)▷幹事長=古賀省吾(高26)▷副幹事長=小林佐登子(高33)▷副幹事長=音成芳和(高36)

[佐賀支部]▷支部長=江里口勉(高

16)▷副支部長=梶原千尋(高5)▷副支部長=金丸盛登(高9)▷副支部長=宮原史枝(高15)▷副支部長=東島慶次郎(高16)▷事務局長=徳久英二(高22)

[唐津支部]▷支部長=鮎川正博(高28)▷副支部長=永渕明則(高16)▷事務局長=濱村宜弘(高43)

[多久支部]▷支部長=梅崎茂弘(高16)▷副支部長=飯守康洋(高24)▷事務局長=川渕理(高46)

[県庁支部]▷支部長=伊東厚(高35)▷幹事長=塚原弘幸(高35)

令和3年4月～令和4年3月までの物故者(敬称略)

(回期)氏名[住所]

(旧中)

(36)横尾 教康[北九州市](37)小森 義峯[京都市](38)伊東 勝利[横浜市](40)野副 繁[横浜市](41)小野田 友幸[府中市](41)北島 久夫[大村市](41)陣内 幸四郎[小城市](42)大石 初男[鳥栖市](42)樋口 熊忠[佐賀市](43)岸川 馨[小城市](44)池田 哲雄[西津軽郡](46)伊東 安衛[浦安市](46)田島 猛弘[久留米市](47)中尾 治雄[佐賀市]

(高女)

(14)飯盛 ツキ[佐賀市](15)江里口 澄子[福岡市](16)松尾 ハル[武雄市](16)城野 智代美[東大和市](18)堤 キヨグリ[小城市](19)中村 節子[杵島郡](19)坂口 富士子[藤枝市](20)緒方 トメチヨ[佐賀市](20)金田 花子[小城市](21)松尾 文子[佐賀市](22)北島 テル[多久市](22)細江 艶子[鳥栖市](22)中村 鶴代[小井市](23)武富 マサノ[太宰府市](23)峰 富子[姫路市](23)池田

サヨ[多久市](23)長岡 春子[小城市](24)村山 玉江[佐賀市](24)松本 芳江[多久市](25)田頭 薫子[足柄上郡](27)峯 フミ[多久市](27)佐野 美枝子[明石市](27)岩藤 明子[町田市]

(高校)

(1)野田 美津利[佐賀市](1)吉浦 精耕[小城市](2)加藤 隆[柏市](2)川崎 亮[唐津市](2)式島 賢一[長崎市](2)松田 信清[小城市](2)森永 正人[小城市](2)

長浜 静代 [練馬区](2) 大宅 房子 [佐賀市](3) 川久保 虎彦 [久留米市](3) 高木 淳利 [茨木市](3) 百田 ユキエ [つくばみらい市](3) 鈴木 千鶴子 [伊豆市](4) 於保 憲幸 [佐賀市](4) 田中丸 久人 [佐賀市](4) 古川 善昭 [小城市](4) 古館 巖 [川崎市](5) 大井手 泰博 [武雄市](5) 金田 建志 [富田林市](5) 田代 進 [多久市](5) 橋口 龍一郎 [横浜市](5) 深川 俊郎 [小城市](5) 安永 栄助 [小城市](5) 吉谷 好弘 [小城市](5) 筒井 八重子 [川西市](5) 牧瀬 睦子 [東京都北区](5) 高尾 照子 [佐賀市](5) 榊原 逸子 [千葉市](5) 古賀 洋子 [佐賀市](5) 川原田 ふぢ代 [小城市](5) 塚元 千年 [小城市](6) 岸川 宏 [佐賀市](6) 佐久間 穰 [佐賀市](6) 中尾 和彦 [所沢市](6) 夏秋 義則 [小城市](6) 牧瀬 紀春 [小城市](6) 森 毅 [枚方市](6) 小淵 克子 [佐賀市](7) 安藤 善光 [稲沢市](7) 齋藤 正治 [世田谷区](7) 平 泰子 [諫早市](7) 西山 富子 [佐賀市](8) 相川 二郎 [横浜市](8) 犬山 英雄 [小城市](8) 大場 乙之 [小城市](8) 坂村 忠之 [佐賀市](8) 志鎌 明 [東広島市](8) 中島 寛明 [宝塚市](8) 高雄 千鶴子 [相模原市](8) 今仁 綾子 [佐賀市](8) 中尾 律

子 [多久市](9) 大木 和代 [小城市](9) 南里 多加子 [町田市](10) 深川 勝博 [つくば市](10) 福田 孝 [四日市市](10) 岡本 栄子 [福津市](10) 山崎 喜久子 [佐賀市](10) 池田 アツ子 [江戸川区](10) 安本 成子 [小郡市](11) 古我 武司 [さいたま市](11) 志波 辰磨 [千葉市](11) 田中丸 敦 [さいたま市](11) 永山 忠幸 [佐賀市](11) 宮地 靖雄 [板橋区](11) 山下 洲基子 [糸島市](11) 尊田 因 [中間市](11) 原口 静香 [高槻市](11) 村岡 芳子 [佐賀市](12) 柳川 修平 [佐賀市](13) 江上 章夫 [熊本市](13) 田中丸 邦彦 [千葉市](13) 鈴木 洋子 [浦和区](13) 池田 賀代子 [大阪市](14) 西村 則義 [小城市](14) 野方 保光 [多久市](14) 村山 隆昭 [多久市](14) 関口 珠美子 [さいたま市](15) 岩部 義彦 [福岡市](15) 川副 正康 [小城市](16) 田中 義一 [小城市](16) 永石 義信 [鹿嶋市](17) 石井 和夫 [小城市](17) 牛島 和廣 [多久市](17) 釘本 萬壽美 [小城市](17) 林 政俊 [福岡市](17) 中村 美保子 [多久市](17) 弥永 茂子 [佐賀市](18) 大鶴 英二 [鳥栖市](18) 武富 弘和 [多久市](18) 西原 純 [大野城市](18) 吉田 善次郎 [佐賀市](18) 山田 多恵子 [平塚市](19) 幸地

和人 [多久市](19) 永井 隆造 [多久市](19) 真子 直喜 [小城市](19) 田中 真知子 [小城市](21) 樋口 勉 [太宰府市](22) 江里口 満 [小城市](22) 南里 辰二 [佐賀市](22) 蓑田 和彦 [多久市](22) 中澤 彰子 [浜松市](23) 堤 覚三 [佐賀市](24) 大坪 研三 [多久市](25) 古賀 久良 [小城市](27) 永野 光芳 [小城市](28) 大崎 真知子 [小城市](29) 野口 祐一 [杵島郡](30) 古賀 英樹 [福岡市](32) 倉富 正俊 [多久市](36) 宮副 智弘 [小城市](38) 野中 皇児 [小城市](42) 北島 健吾 [佐賀市](49) 吉村 武志 [小城市]

(定時)

(本定3) 服部 世冷 [江東区] (本定3) 樋口 義忠 [多久市] (本定3) 森永 健之 [多久市] (本定5) 副島 照次 [姫路市] (本定6) 岡田 五郎 [羽村市] (本定9) 谷口 洋子 [福岡市] (本定10) 陣内 克義 [小野市] (本定14) 千布 千年 [唐津市] (本定24) 森永 義春 [佐賀市] (本定28) 原田 末広 [小城市] (牛定4) 榊野 健司 [多久市] (牛定5) 平石 三重子 [小城市] (牛定7) 古賀 和子 [佐賀市] (多定4) 山口 邦子 [北九州市]

寄付・寄贈

(令和3年4月～令和4年3月)

一般寄付金 高校22回生一同様 (卒業50周年) 20,000円 / 高校40回生一同様 2,600円
〔故〕匿名希望 (旧中46回) の奥様 100,000円

その他 高校10回理事 牟田口博司様 『小城高新聞 (昭和23年～昭和45年)』

ご寄付・ご寄贈いただきありがとうございます。

令和4年度 黄城会本会計予算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(収入)		(単位:円)		
No	目	令和4年度	令和3年度	比較増減
1	会費	5,000,000	5,000,000	0
2	入会金	2,088,000	2,113,200	▲ 25,200
3	会費寄付金	1,000,000	1,000,000	0
4	一般寄付金	50,000	50,000	0
5	雑収入	10,000	10,000	0
6	繰入金	0	0	0
7	繰越金	6,910,971	5,293,707	1,617,264
	合計	15,058,971	13,466,907	1,592,064

(支出)		(単位:円)		
No	目	令和4年度	令和3年度	比較増減
1	会報発行費	700,000	700,000	0
2	黄城会入会費	100,000	100,000	0
3	支部活動助成費	220,000	234,000	▲ 14,000
4	回期活動助成費	55,000	60,000	▲ 5,000
5	会費徴収費	1,800,000	1,800,000	0
6	会議費	250,000	250,000	0
7	母校職員援助費	20,000	20,000	0
8	支部関係渉外費	900,000	900,000	0
9	慶弔費	50,000	50,000	0
10	(一財)黄城教育会館	3,000,000	3,000,000	0
11	基本金	1,000,000	1,000,000	0
12	運営積立金	50,000	50,000	0
13	名簿積立金	50,000	50,000	0
14	退職給与積立金	50,000	50,000	0
15	消耗品費	100,000	100,000	0
16	通信費	250,000	250,000	0
17	事務委託費	300,000	300,000	0
18	賃借料	440,000	440,000	0
19	雑費	100,000	100,000	0
20	予備費	50,000	50,000	0
	合計	9,485,000	9,504,000	▲ 19,000
	次年度繰越金	5,573,971	3,962,907	1,611,064

令和3年度黄城会本会計決算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(収入)		(単位:円)		
No	目	当初予算額	収入額	比較増減
1	会費	5,000,000	3,228,000	▲ 1,772,000
2	入会金	2,113,200	2,052,000	▲ 61,200
3	会費寄付金	1,000,000	2,957,000	1,957,000
4	一般寄付金	50,000	122,600	72,600
5	雑収入	10,000	1,109	▲ 8,891
6	繰入金	0	0	0
7	繰越金	5,293,707	5,293,707	0
	合計	13,466,907	13,654,416	187,509

(支出)		(単位:円)		
No	目	当初予算額	支出額	比較増減
1	会報発行費	700,000	595,320	104,680
2	黄城会入会費	100,000	95,480	4,520
3	支部活動助成費	234,000	233,400	600
4	回期活動助成費	60,000	59,400	600
5	会費徴収費	1,800,000	1,784,497	15,503
6	会議費	250,000	16,824	233,176
7	母校職員援助費	20,000	20,000	0
8	支部関係渉外費	900,000	0	900,000
9	慶弔費	50,000	20,000	30,000
10	(一財)黄城教育会館	3,000,000	3,000,000	0
11	基本金	1,000,000	0	1,000,000
12	運営積立金	50,000	50,000	0
13	名簿積立金	50,000	50,000	0
14	退職給与積立金	50,000	50,000	0
15	消耗品費	100,000	78,909	21,091
16	通信費	250,000	245,698	4,302
17	事務委託費	300,000	77,000	223,000
18	賃借料	440,000	341,472	98,528
19	雑費	100,000	25,445	74,555
20	予備費	50,000	0	50,000
	合計	9,504,000	6,743,445	2,760,555
	次年度繰越金	3,962,907	6,910,971	2,948,064

令和3年度(第10期)一般財団法人黄城教育会館正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科	目	令和3年度予算	令和3年度決算	備	考
I	一般正味財産増減の部				
1.	経常増減の部				
(1)	経常収益				
	基本財産運用益	5,000	730		
	基本財産受取利息	5,000	730	基本財産定期預金利息	
	事業収益	100,000	102,500		
	会館使用料	100,000	102,500	光熱水費使用実費分	
	受取補助金等	5,500,000	5,500,000		
	運営費補助収入	5,500,000	5,500,000	黄城会、小城高等学校教育振興会	
	雑収入	6,000	2,110		
	受取利息	1,000	20	預金利息	
	雑収入	5,000	2,090	コピー料	
	経常収益計	5,611,000	5,605,340		
(2)	経常費用				
	事業費	1,440,000	1,440,000		
	奨学助成費	1,440,000	1,440,000	小城高等学校奨学生(12名)	
	管理費	8,670,000	7,688,826		
	給料手当	2,500,000	2,454,710	職員2名分	
	法定福利費	30,000	21,603	雇用保険料	
	消耗品費	195,000	152,551		
	燃料費	120,000	57,283	ガス代、白灯油代	
	光熱水費	1,000,000	605,350	電気料、水道代	
	修繕費	100,000	0		
	通信運搬費	35,000	720	郵送料	
	手数料	20,000	11,000	水質検査手数料	
	賃借料	30,000	24,890	会館敷地使用料	
	委託費	900,000	789,740	警備、電気保安、浄化槽管理等	
	登記料	80,000	0		
	火災保険料	160,000	156,520		
	減価償却費	3,400,000	3,368,539		
	雑費	100,000	45,920	不用品処分料	
	経常費用計	10,110,000	9,128,826		
	当期経常増減額	▲ 4,499,000	▲ 3,523,486		
2.	経常外増減の部				
(1)	経常外収益	0	0		
	経常外収益計	0	0		
(2)	経常外費用	0	0		
	固定資産除去損	0	0		
	経常外費用計	0	0		
	当期経常外増減額	0	0		
	当期一般正味財産増減額	▲ 4,499,000	▲ 3,523,486		
	一般正味財産期首残高	0	139,763,951		
	一般正味財産期末残高	0	136,240,465		
II	指定正味財産増減の部				
	当期指定正味財産増減額	0	0		
	指定正味財産期首残高	0	0		
	指定正味財産期末残高	0	0		
III	正味財産期末残高	0	136,240,465		

(単位：円)



令和4年度(第11期)一般財団法人黄城教育会館予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科	目	令和4年度予算	令和3年度予算	備	考
I	一般正味財産増減の部				
1.	経常増減の部				
(1)	経常収益				
	基本財産運用益	5,000	5,000		
	基本財産受取利息	5,000	5,000	基本財産定期預金利息	
	事業収益	100,000	100,000		
	会館使用料	100,000	100,000	光熱水費使用実費分	
	受取補助金等	5,450,000	5,500,000		
	運営費補助収入	5,450,000	5,500,000	黄城会(300万円)、同窓会館維持費(245万円)	
	雑収入	6,000	6,000		
	受取利息	1,000	1,000	預金利息	
	雑収入	5,000	5,000		
	経常収益計	5,561,000	5,611,000		
(2)	経常費用				
	事業費	1,440,000	1,440,000		
	奨学助成費	1,440,000	1,440,000	小城高等学校奨学生(12名)	
	管理費	8,580,000	8,670,000		
	給料手当	2,500,000	2,500,000	職員2名分	
	法定福利費	30,000	30,000	雇用保険料	
	消耗品費	195,000	195,000	文具代、コピーカウント料	
	燃料費	120,000	120,000	ガス代、白灯油代	
	光熱水費	1,000,000	1,000,000	電気料、水道料	
	修繕費	100,000	100,000		
	通信運搬費	35,000	35,000	郵送料	
	手数料	20,000	20,000	水質検査手数料	
	賃借料	30,000	30,000	会館敷地使用料	
	委託費	900,000	900,000	警備、電気保安、浄化槽管理等	
	登記料	80,000	80,000	変更登記料	
	火災保険料	160,000	160,000		
	減価償却費	3,400,000	3,400,000		
	雑費	10,000	10,000		
	経常費用計	10,020,000	10,110,000		
	当期経常増減額	▲ 4,459,000	▲ 4,499,000		

(単位：円)

✿ 「会費」 及び 「会員寄付金」 納入のお願い ✿

黄城会の「会費」及び「会員寄付金」の納入について、下記によりご協力を賜りますようお願い申し上げます。
 会費につきましては、皆さまの払い込みの利便を図るため、『ゆうちょ銀行（郵便局）』に加え、『全国のコンビニエンスストア』からも払い込みいただけるようにいたしております。お一人でも多くの皆さまにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

会費納入については機会あるごとにご協力をお願いしておりますが、なかなか納入が伸長せず黄城会の運営が危惧される状況になっておりましたので、平成27年度から会費とは別枠で会員寄付金のご協力をお願いして黄城会の事業を行うための経費に充てさせていただいております。

黄城会の目的である『会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与する』ための円滑な運営ができますよう、「会費」及び「会員寄付金」の納入について、会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、行き違いで、すでに今年度の会費及び会員寄付金を納入していただいた方に、納入のお願いが届きましたらご寛恕ください。

記

会費のご案内	会員寄付金のご案内
※終身会費納入済みの方、5年会費納入済みの方で5年経っていない方及び今年度に会費を納入されている方を除きます。	※今年度に会員寄付金を納入されている方を除きます。
①会費の区分 1年会費 2千円 5年会費 1万円 終身会費 5万円	①寄付の金額は任意でお願いしておりますので、ご寄付いただく金額をご記入のうえ、『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。
②会費の振込金融機関 1年会費（2千円）は、最寄りの『ゆうちょ銀行（郵便局）又はコンビニ』から振り込みをお願いします。 5年会費（1万円）又は終身会費（5万円）を振り込んでいただけたときは、振込金額を訂正していただいたうえで『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※郵便局からの現金振り込みは、振込料金ではなく「加算料金110円」が必要となっております。（「ゆうちょ口座の通帳」又は「カード」で振り込んでいただく場合は加算金はありません。） ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。 ※『自動払い込み（口座振替）』にご協力いただける方には、手続きの書類を送らせていただきますのでご連絡ください。	②ご寄付いただいた方にはお礼状をお届けするとともに、当年度の寄付者名を翌年発行する会報誌上に掲載し、お礼を申し上げさせていただきます。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。

「会費」 及び 「会員寄付金」 の納入状況

【会 費】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
口 数	1,277口	1,332口	1,190口
金 額	3,690,000円	3,760,000円	3,228,000円

【会員寄付金】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
口 数	301口	329口	344口
金 額	2,572,000円	2,705,000円	2,957,000円

『回期だより』回期だよりを作成された卒業回期の方に同封しています。ご高覧ください。

住所変更等の連絡のお願い

現住所を変更（改姓を含む）されたときは、黄城会事務局までご連絡をお願いします。その際には、卒業回期、旧姓もお知らせください。

『ゆうちょ銀行（郵便局）』から会費を振り込まれる方は、払込取扱票の通信欄をご利用ください。会員寄付金のみを振り込まれる方も同様をお願いします。

副会長・事務局長就任のごあいさつ



副会長 徳久 英二 (高校22回)

この度、黄城会副会長を仰せつかりました高校22回卒の徳久英二と申します。

歴史と伝統を誇る黄城会は、先輩達の努力と結束力で123年の歴史を刻んでおります。一方で会員数の減少や会費の納入率の低下、若い会員の同窓会離れ等、課題を抱えております。さらにコロナ禍により活動が制約されてままならないといった状況にあります。

身に余る役ではありますが、伝統ある黄城会がこれから先も発展していくよう微力ながら努めていきたいと思っております。

会長をはじめ、会員皆様どうぞよろしくお願い致します。



事務局長 平安寺 徹 (高校25回)

この度、黄城会事務局長に就任いたしました高校25回卒の平安寺徹と申します。卒業後東京在住の為、黄城会には長らく関わりがなかったのですが、今回、両親との生活を決め小城に戻って来た折、事務局長のお話があり微力ながら、お手伝いができればとの思いからお引き受けいたしました。

卒業後は数年に一度の頻度で帰省していましたが、同級生、先輩、後輩と会えば、高校時代の思い出話ばかりだったと記憶しています。心ならずも、家庭の状況で佐賀の地を離れられた方も、多くおられるかと思いますが、この黄城会と言う同窓会組織で小城高校とのつながり、同級生、先輩、後輩とのつながりが切れることない大切な思い出の空間を提供できるよう努力してまいります。

大変な役職を拝命いたしまして、いかほどの貢献ができるか分かりませんが、会長のもと黄城会の更なる前進の一翼とならんことを誓いまして就任の挨拶とさせていただきます。

事務員の一言

自分の機嫌は自分でとれと言われてます。私がしっくりきたのは、モヤッとしたらすぐに違うことを考える、楽しみを見つける、というシンプルなものでした。

今、ベランダのプランターで野菜やハーブを育てています。朝起きてすぐ、水やりなどお世話をするのが楽しみで、彼らの成長に驚き癒やされる毎日です。

(山崎)



お知らせ

令和4年度 支部総会予定日

予定の変更があれば、その都度黄城会のホームページに掲載しますのでご確認ください。

支部名	予定日	連絡先	電話
関東	令和4年 8/28(日)	幹事長 (高20) 光石 信幸	043-250-6539
中京	令和4年 9/17(土)	事務局長 (高40) 堤 淳	090-1728-1894
関西	令和4年 9/18(日)	事務局長 (高20) 内田 敏博	0774-63-6271
福岡	未定	幹事長 (高26) 古賀 省吾	090-8669-4023
県庁	未定	幹事長 (高35) 塚原 弘幸	0952-25-7619 (SAGA2023・SSP推進局)

支部名	予定日	連絡先	電話
佐賀	検討中	事務局長 (高22) 徳久 英二	090-9578-4672
関門・北九州	検討中	支部長 (高29) 山口 孝美	080-3182-0346
長崎	令和5年 1/29(日)	事務局長 (高10) 大石 太	090-6774-1144
唐津	令和5年 2/5(日)	事務局長 (高43) 濱村 宜弘	080-1725-4591
多久	令和5年 2/12(日)	事務局長 (高46) 川淵 理	090-1083-5846

※新型コロナウイルスの感染者状況により変更もあります。